

児童（6歳から13歳未満）は保護者に守られて歩く幼児に比べると、自転車に乗るなど行動範囲が大幅に広がります。そこで、「交通社会」の一員としてのルールやマナーを教え、さらに危険予

測や回避能力を身につけさせなければなりません。

入学期に備えて、児童の事故を防ぐためには、行動の特徴である「道路への飛び出し」「車両の直前の横断」「自己の欲求のままに直接的行

交通安全は家庭から

動に出やすい傾向」などを理解しておくことが大切です。

保護者は次の点を心がけましょう。

- ①交通の頻繁な道路では遊ばせない
- ②自転車は体に合った安全なものを

選ぶ③自転車を

使う時は、ヘルメットをかぶらせる

- ④登校する時は、十分に時間に余裕を持って送り出す⑤出がけには、きつく叱らない⑥万が一、交通事故に遭ったら、必ず警察に届けさせる。

交通安全二口メモ